1992年５月15日発行（隔月奇数月発刊）　点訳通信４号

点訳通信　第４号

1992.5.15

盲人情報文化センター

点字製作係　92年度の計画とお願い

年度始めにあたり、点字製作係の主な事業計画と、それに伴ういくつかのお願いを書かせていただきます。

１　リクエスト点訳の強化

このところ、盲大学生から教材の点訳希望が殺到しています。また、料理、電気器具のマニュアル、歌集、読み物など、種々雑多なリクエストも増えつつあります。現状ではそのすべてをこなすことはできませんが、できるだけのことはしたいと思います。そこで、これまで以上にご無理を申し上げることもあろうかと思いますが、ご協力下さい。

今年も毎日社会事業団主催の専門点訳講習会が行われます。９～12月まで外国語、１～３月まで理数の予定しており、詳しくは８月ごろご案内いたします。これらの分野の点訳者が不足していますので、ぜひ挑戦してみて下さい。

２　校正体勢の強化

「ONE BOOK ONE LIFE」４月号でご紹介しました通り、11人の方が新たに点訳に加わって下さいましたし、パソコン点訳の普及で点訳量は増えるばかり。読み合わせも触読校正も遅れる一方です。そこで、ボランティアによるペア校正を増やし、また、外部の視覚障害者にも触読校正をお願いすることで対処しようと考えております。校正場所の環境も悪く、申し訳ありませんが、５階の小部屋をペア校正用に確保しましたので、ご利用下さい。無理のない範囲で４ペア程度同じ時間帯に利用していただき、お互いに適宜助け合いながらしていただければと考えています。できればそのグループにベテラン点訳者に加わっていただき、比較的

初心の方のお手伝いをもしていただけるよう、徐々に体制作りをしていきます。その意味で、個々にご相談することもあると思いますが、よろしくお願いします。

尚、触読校正の結果についても、今後の参考にしていただくべく、校正結果をお知らせします。皆さんのボックスに入れておきますので、ご来館の節は覗いてみて下さい（何もないことが多いですが、お見落としのないようおお願いします）。

３　「点訳通信」の充実

「点訳通信」を編集委員の方々の力をお借りしつつ、更に充実させていきます。そこでぜひ、点字のルールやパソコンについてのご質問、遭遇した興味深い事例、係へのご批判などお寄せ下さい。

４　パソコン点訳講習会の実施

従来４月に開いていた点訳講習会を今年は９月からスタートさせます。受講対象は、パソコンをお持ちの方か、12月までに購入予定の方とします。これは、最近パソコンに低価格化に伴い、家族でパソコンを所持する家庭が増えたこと。てんやく広場を通じて、他の図書館などでも利用していただけるなど、私たちを取りまく環境が変わったきました。そこで、パソコン点訳を前提に講習会を持とうと考えました。全国的にも例がなく、うまくいくかどうかわかりませんが、ぜひ成功させたいと考えています。本来なら、すべての希望者にパソコンをお貸ししたいのですが、その予算が組めません。ご寄付などをいただいた時に数台でも購入できないものかと諦めずに話し合っています。お貸しした方、ご自身で購入なさった方、希望しているのに使っていただいていない方など、大いに不公平な結果になっていることを心苦しく思います。

尚、点字器やタイプの点訳者も相当数おられます。全国的にはまだまだこれらの機器が主流です。「もう役に立たないのでは」とおっしゃる方もおられますが、読者は必要としているのですから、パソコンのことは余り気になさらず、引き続きご協力下さい。

５　豊かな書庫作り

リクエスト点訳もさることながら、理想としては、求められる本がすべて書庫に揃っている状態が理想です。従って、よく読まれる本、読んでもらいたい本をたくさん備えていきたいと考えます。当センターの職員で選書委員会を作って本を選んでいますが、皆さんもぜひこれはと思う本を推薦して下さい。本の奥付や

その書評などをご持参下さい。尚、推薦していただいても、他館で製作しているものや、同じようなものが既に作られているものなどは取り上げないこともありますので、ご承知おき下さい。

新年度計画のご説明というより、お願いばかりになってしまいました。どうぞ更なるご協力をお願いいたします。

点訳Q＆A

Q

『点訳の手引き』には「複合名詞の内部に、３拍以上の意味のまとまりが２つ以上あれば、その境目で区切り、２拍以下の意味のまとまりは、そのどちらかに続けることを原則とする」とありますが、よく意味がわかりません。「例」をみると、「桜並木」は区切り、「歌い文句」は続けることになっていますが、どれを区切り、どれを続けるのか、その目安をお教え下さい。

A

一読してすぐわかるような文章ではありませんね。「複合名詞の内部の意味のまとまり」とは、「桜並木」と言う複合名詞の「サクラ」と「ナミキ」、「歌い文句」の「ウタイ」と「モンク」をさしています。そこで、〈点字の憲法〉とも言うべき『日本点字表記法』は、去年の改訂にあたり、この複合名詞の切れ続きの判断基準として、言葉の続き具合とともに、〈拍数〉を採用する方針を打ち出し、『点訳の手引き』もその方針に乗っ取って改訂されたのです。拍数による分かち書きに徹すれば、単純明快、それこそコンピュータだって簡単に判断できます。「歌い文句」も「桜並木」も３拍の言葉同士の複合語だから続ける、「民主主義」は３拍と２拍だから続け、「民主社会」は３拍と３拍だから区切る、と言う具合です。ところが、これでは余りにこれまでのやり方と違いすぎて、点訳者も読者もなじめないのではないか、また、「ウタイ　モンク」と区切ると気持ちが悪いと言う意見も根強い、つまり、言葉の意味を無視して拍数だけで判断するのは「非国語的」であるとの意見です。そこで、拍数を基準にしつつ、しかし、従来のルールを大幅に変えないように、つまり、コンピュータ的切れ続きと言葉へのこだわりとを妥協させる形で、このルールが定められたのです。

そこで、今回は外来語を含んだ言葉や４字漢語を除く複合語だけを取り上げます。前者は本誌で以前ご説明しましたし、後者については追って考えたいと思います。

1)　３拍以上の名詞２つからなる複合名詞は区切り、２拍と３拍などは続けて書く。
　　［例］　サクラ　ナミキ、ミウラ　ミサキ、サクラ　フブキ、
　　マツナミキ、テンプラソバ、キンゾクイス

2)　動詞から転生した名詞（動詞連用形）の含まれた複合名詞は３拍でも続け、４拍以上の語が含まれれば区切る。
　　［例］　ミサキメグリ、タカラサガシ、ママゴトアソビ、
　　コドモ　アツカイ、アヤツリ　ニンギョウ、

少し『手引き』と異なる点もありますが、これらは、さほど重要なルールではありません。表記法自体、いわゆる〈アバウト〉なのです。したがって、さほど神経質にならなくて結構です。少なくとも点字器やタイプの場合、これらを訂正する為に何枚も書き直す必要はないでしょう。ただ、無神経、いい加減でも困ります。よく似た言葉を集め、上記の目安に当てはめながら切れ続きの訓練をして下さい。

リクエスト図書

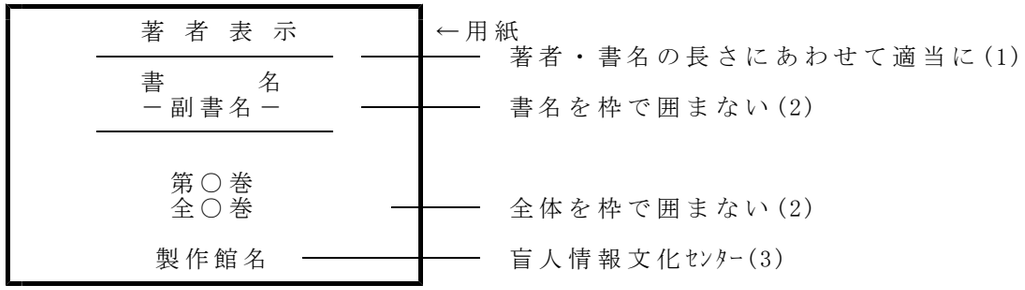
下記の図書の点訳希望が来ています。点訳していただける方がありましたら係までお知らせ下さい。

・若妻体験ごっこ　　宇能鴻一郎
・浮気くらべ　　宇能鴻一郎
・ＢＢＣニュースの英語　　長沢彰彦

表紙、奥付表記変更のお願い

前号で、表紙および奥付表記の変更をお知らせいたしましたように、新たに着手する図書から次のように変更します。

最近、パソコンを使って読書する利用者が増えてきたことや、電話回線を通じてデータの交換が容易にできるようになったことに対処したものです。



(1) 書名を「２・５」の線で区切ります。線の長さは、著者名、書名とのバランスを考え適当な長さにして下さい。

(2) 従来、枠で囲んでいましたが、音声で読む人のことを考えて囲みを廃止しました。

(3) 点訳者名を記入していましたが、図書館名（盲人情報文化センター）を記入します。点訳者名、点訳日は奥付にまわします。

奥付は最低限１巻目と最終巻に付けて下さい。

尚、点訳広場では扉や奥付などの統一をはかるべく準備中です。当センターも大筋においてそれに従いたく思っています。従って、今後も多少の変更も有り得ます。その都度本誌でお知らせしますので、ご承知おき下さい。

パソコン点訳講座４

挿入と上書

文章を編集するときのモードに「挿入」と「上書」の２つがあります。「挿入」はカーソルがある位置に新しい文字を入れることです。したがって、挿入された以降の文字は後半にずれて行きます。「上書」はカーソルのある位置の文字を新たに入力した文字と入れ換えます。したがって文字のズレは起こりません。

モードの切り換えは［挿入］または［ＩＮＳ］キーを押すごとに「挿入」「上書」と順に変わります。また現在のモードを確認するためにはディスプレーの上方をご覧下さい。さまざまな情報が書かれていますがその中に「挿入」「上書」のモードも表現されています。

挿入と上書

1.モードの切り換え
　ＢＥ　→　「挿入」キー
　BASE　→　「ＩＮＳ」キー

2.役割
　［挿入］　→　カーソルのある位置に新しい文字を入れる
　［上書］　→　カーソルのある位置の文字を新しい文字と入れ換える

　＜例＞　１２３４５（３の位置にカーソルがある）に「７」を記入する
　　［挿入］　→　１２７３４５
　　［上書］　→　１２７４５

3.モードの確認

　ＢＥの場合

　文書名:xxx　残りxxﾍﾟｰｼﾞ BE2.10 xxﾍﾟｰｼﾞ 2行 1ﾏｽ　上書
　　↑
　　挿入・上書の表示

　ＢＡＳＥの場合

　1P 2:1 Tf 挿入 Sp2 BKOn# Wl0n (205P/　0) 1 xxxx.BSE
　　↑
　　挿入・上書の表示

注　意

上書モードで文字を訂正する場合、文字数が同じであれば問題がありませんが、新たに入れる文字数が多い場合、すでに書かれている必要な文字まで消してしまうことがあります。訂正した場合は必ず確認して下さい。

空白のデータ

スペースキーを押すと「空白」が挿入されます。この空白は点字プリンターにかけた場合、何も打ち出されません。また、何もデータの入っていないところも、もちろん打ち出されません。一見「空白」もデータのない部分も同じように見えますが、まったく違った意味を持ちます。

「空白」も空白というデータの一種ですので、むやみに入れないで下さい。スペースキーで行送りをしたりした場合、訂正・挿入を繰り返すと文字の位置が変わりとんでもない文章になることがあります。

空　白

「空白」と「データのなし」の見分け方

1)　ＢＥの場合

画面が空白の場合は「空白」というデータが入っています。空白もデータの一種です。したがって文字数に入ります。データのないところは下線が現れます。

```
　ナツヤスミノ　ギョージヤ　リョコーナドニ　シュザイシテ　__
サクブンヲ　カイテ　ミヨー　　　　　_____［改行］
                　　↑　　↑
                　空白　　データなし
```

2)　ＢＡＳＥの場合

行末に関しては、「空白」と「データなし」の違いはありません。但し、改行キーを押すことにより、行データが入ってゆきます。

```
1　　ナツヤスミノ　ギョージヤ　リョコーナドニ　シュザイシテ
2　サクブンヲ　カイテ　ミヨー
3
4
5
```

数字が出ておれば「改行データ」が入っている

数字がなければデータなし

改行と改ページ

文章の途中で段落が出てきた場合は「改行」を行います。ＢＥをお使いの場合、改行キーを押すと画面上に改行マークが出ます。スペースキーで送っても見かけ上は同じような結果になりますが、「空白」も文字の一種ですので訂正・挿入を繰り返すと文章のレイアウトがおかしくなります。必ず「改行」で処理して下さい。

なお、ＢＡＳＥには改行マークはありません。次の行頭が２マス以上空いていると前行の終わりで改行されたものと処理します。改行マークがない関係上、図や表を作るときには注意が必要です。詳しくは「ワードラップ」の項で説明します。

改行は行の途中で強制的に行を改めることですがページの途中でページを改めるのが「改ページ」です。ＢＥの場合は画面上に改ページマークがでます。

改行と改ページ

改　行

1)　<u>ＢＥ（ＩＢＭ）の場合</u>

改行（リターン）キーを押すと行がかわり、行末に改行マークがでる。

2)　<u>ＢＡＳＥの場合</u>

次行が２マス以上の空白があると前行の末で改行されたものと判断する。

```
XXXX XXXX XX XXXXXX　　　　　　　　　　　　　　　　(1)
XXXXXXXX XXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
XXXXX XXXXXXX XXXXXXX　　　　　　　　　　　　　　　(2)
  XXXXX XXXXXXX XXXXX XXXXX XXXX XXX
XXXX XXXXXX XXXXX XXXXXX XXXXXX
```

(1) 次行の先頭に２マス以上のマスアケがないので、改行とは見なされない。したがって、文字の挿入や削除をすると次行が繰り上がってきます。レイアウトの変更をしたくない場合は、ワードラップをオフにして下さい。

(2) 次行の先頭が２マス以上空いているので改行と見なされる。編集をしても改行以下の文章が繰り上がることはない。

改ページ

1) ＢＥ（ＩＢＭ）の場合

［ＰＦ６］（JX-5)、［Ｆ６］のファンクションキーを押すと、改ページマークが画面に現れ、改ページされます。

2) ＢＡＳＥの場合

改ページの概念がありません。次のページになるまで改行キーを押し続けて下さい。

注　意

ＪＸ－５の「上書」モードで改行マークや改ページマークの上に文字を書くと改行マークや改ページマークが消え文字が入力されます。したがって改行や改ページがされないことになり、レイアウトが狂ってきます。

ページ行

多くの図書館では、点字プリンターに打ち出すサイズを「Ｂ５、３２マス、２２行」に定めています。２２行のうち、先頭の一行目はページ数を記入する行となっています。したがって、文章を入力できるのは２１行分といえます。

ページは自動的に記入することができます。現在カーソルがあるページからデータが入っている最終ページまで番号を付けます。但し、一度ページを付けたのちは、データを追加するごとにこの作業を行わなければなりません。例えば前日、本文３５ページまで作業をし、本日、続きを７２ページまで入力した場合、３６ページからは改めてページを記入しない限り自動的に入ることはありません。

ページ番号付加

1) ＢＥ（ＩＢＭ）の場合

［シフト］＋［ＰＦ６］または［赤］＋［命令キー６］

３０Ｚ用ＢＥのメッセージ

```
現在カーソルがあるページ以降のページ行に、番号を付加します。
９９９ページを越えるような場合は、それ以降が０、１、２となります
０を指定した場合はすでに入っている番号を除去します。
番号を入力して下さい：　１
設定が決定したら改行キーを押して下さい
```

1)「番号」とはページ番号のことです。付けたいページ数を入力したのち、改行キーを押して下さい。最終ページまでページ番号が付加されます。
2)ページは設定された１行のマス数の後ろから５マス目に記入されます。（通常２８マス目）
3)ページ番号はデータの入った最終ページ以降も付けられますが、文書を保管するときに、データの入っていない不用なページは切り捨てられます。
4)原本ページを左側に入れるときは、上書モードで入力しないと、本文のページ位置がずれます。
5)カーソルはページ行に置く必要はありません。

2) ＢＡＳＥの場合

［SHIFT］＋［ｆ・３］

1)カーソルをページ行に移動する。
2)ページを記入する。２８マス目に記入するとＢＥと同じ位置にページが付くことになります。
3)［SHIFT］キーを押したままで、［ｆ・３］キーを押す。

```
自動頁番号付 [x]ページの[28]マス目から 番号[x]を付けます [Y/N]
```

4)［Ｙ］または改行キーを押すと最終ページまでページ番号が入ります。
5)原本ページを左側に入れるときは、上書モードで入力しないと、本文のページ位置がずれます。
6)カーソルは必ずページ行に置いて下さい。

何かの都合で、ページ番号を変更したい場合や削除したい場合があります。
ページ番号削除やページ番号付加の機能を使うとうまくゆきます。

ページ番号削除

1)　ＢＥ（ＩＢＭ）の場合

［シフト］＋［ＰＦ６］または［赤］＋［命令キー６］

３０Ｚ用ＢＥのメッセージ

```
現在カーソルがあるページ以降のページ行に、番号を付加します。
９９９ページを越えるような場合は、それ以降が０、１、２となります
０を指定した場合はすでに入っている番号を除去します。
番号を入力して下さい：　１
設定が決定したら改行キーを押して下さい
```

1)番号「１」を削除キーまたは後退キーで消し、数字を「０」にする。
2)改行キーを押すと２８マス目から３２マス目までのページ行に書かれ文字が削除されます。
3)ＪＸ－５用にはこの機能はありません。

2)　ＢＡＳＥの場合

［CTRL］＋［ｆ・３］

1)カーソルをページ行に移動する。
2)カーソルを削除したい文字の左側に移す。
3)［CTRL］キーを押したままで、［ｆ・３］キーを押す。

```
頁番号削除 [x]ページの[2X]マス目から 右の文字を削除します[Y/N]
```

4)［Ｙ］または改行キーを押すと最終ページまで削除されます。

原本ページの入ったデータの前に、目次を挿入したい場合、通常の挿入モードでデータを追加した場合、ページがずれ、１ページのページ番号と原本ページが目次の位置にきます。ページ番号だけなら削除したのち、新たに１ページから番号を付加すればいいのですが、原本ページのずれはどうにもなりません。
この難題も、文書結合を組み合わせることで解決できます。

ページ番号の変更

ＢＥ（ＩＢＭ）の場合

(1)　ページ番号を変更したい場合。

◆２８マス目にページ番号が記入されている場合は、上記のページ番号付加機能を利用して新しいページ番号を記入すれば、すべて新しい番号と入れ替わります。

◆何かの都合で２８マス以前に番号を付けた場合は、一つずつ削除する空白を挿入して、２８マス目以降にもって行き、ページ番号削除機能を利用して消したのち、改めてページ番号を付加して下さい。

(2)　ページ番号を変更しないで、データを追加したい場合。

◆別のファイル名で追加したいデータを作製し、文章を結合します。
（文章の結合は別項で説明）
◆文書結合はページ単位です。

2)　ＢＡＳＥの場合

(1)　ページ番号を変更したい場合。

◆ページ番号付加および削除機能を利用して自由にできます。

(2)　ページ番号を変更しないで、データを追加したい場合。

◆別のファイル名で追加したいデータを作製し、文章を差し込みします。
（文章の差し込みは別項で説明）
◆文書差し込みはページ単位です。

カーソルの移動

編集や、修正をする際にはカーソルを頻繁に移動させます。カーソルの移動キーをうまく利用することにより、随分早く編集・修正を済ますことができます。

カーソルの移動

ＢＥ（３０Ｚ）の場合

・左右上下　…　［←］［→］［↑］［↓］
・行頭／行末　…　［赤］＋［←］または［赤］＋［→］
・画面最上行　…　［ホーム］
・画面最下行　…　［赤］＋［ホーム］
・前ページ　…　［命令キー７］
・次ページ　…　［命令キー８］
・文章の最初　…　［赤］＋［↑］
・文章の最後　…　［赤］＋［↓］
・指定の頁へ　…　［赤］＋［命令キー７］
・次の見出し　…　［青］＋［命令キー１１］
・前の見出し　…　［赤］＋［青］＋［命令キー１１］
・次の段落　…　［青］＋［命令キー１２］
・前の段落　…　［赤］＋［青］＋［命令キー１２］

◆［注］◆　フルキーボードを使用の方は下の言葉に換算して下さい。
［赤］　→　［SHIFT］
［青］　→　［CTRL］
［命令キー］　→　ファンクションキー［Ｆ　］

フルキーボードで使用される場合は、任意のキーに上記の機能を割り当てることができます

ＢＥ（ＪＸ－５）の場合

・左右上下　…　［←］［→］［↑］［↓］
・前ページ　…　［命令キー７］
・次ページ　…　［命令キー８］
・文章の最初　…　［赤］＋［命令キー７］
・文章の最後　…　［赤］＋［命令キー８］

◆［注］◆　フルキーボードを使用の方は下の言葉に換算して下さい。
［赤］　→　［SHIFT］
［命令キー］　→　ファンクションキー［ＰＦ　］

2)　ＢＡＳＥの場合

◆［注］◆　「^」は［SHIFT］、「¥」は［CTRL］を現しています。

・１行上に　^E Y I［↑］
・１行下に　^X B N［↓］
・１文字右に　^D ;［→］
・１文字左に　^S A［←］
・１語左に　^A　¥[?]
・１語右に　^F　¥[_]
・スクロールアップ　^W
・スクロールダウン　^Z
画面上のカーソルのある位置を変更せずに画面を１行スクロールアップダウンさせます。
・行の左端に　^QS ¥[←]
・行の右端に　^QD ¥[→]
・１ページ戻る　^R　[F4]　¥[↑]
・１ページ進む　^C　[F5]　¥[↓]
・連続ｽｸﾛｰﾙｱｯﾌﾟ　^QW　[RLUP]
・連続ｽｸﾛｰﾙﾀﾞｳﾝ　^QZ　[RCDN]
[RLUP][RLDN]をおすと画面が連続的にスクロールダウン、アップします。スクロールを止めるにはどれかキーを押して下さい。
・頁先頭、最後移動　[HOME]
現在カーソルのある頁の１行目を画面の先頭にもってきます。そしてカーソルが頁の先頭にある場合は、カーソルをその頁の最終行の、入力位置に移動します。最終行にある場合は、頁の先頭にカーソルを移動します。
・頁の先頭に　^QE
・頁の最後に　^QX
・表示画面の最終行に移動　¥[HOME]
表示されている画面の中の最終行にカーソルが移動します。
入力中に、少しカーソルを移動させた時など、すぐに入力位置に戻ることができます。
・テキストの先頭に　^QR ¥[F4]
・テキストの最後に　^QC ¥[F5]
・指定頁に移動　^QJ　[F3]
ガイドラインに「移動頁[　]」と表示されます。移動先の頁を数字で入力してください。０以下の数字を入力した場合は、先頭頁に、最終頁以上の番号を入力した場合は、最終頁に移動します。入力を中止する場合は［ESC]キーを押して下さい。
・ｶｰｿﾙを次行の先頭に　^M [:] [H] [Q] [CR]
・指定行へ移動　^QK
ガイドラインに「移動行番号:[　]」と表示されます。移動先の行番号を入力してください。０以下の数字を入力した場合は、先頭行に最終行以上の番号を入力した場合は、最終行に移動します。入力を中止する場合は［ESC]キーを押して下さい。
・カーソル位置記憶　^QM
現在カーソルのある位置を記憶します。
・記憶位置への移動　^QP
記憶された位置に移動します。^QP を押した時点で、その位置も記憶します。もう一度 ^QPを押すと、先ほど記憶した位置に戻ることができます。文字を検索した場合や簡易チェックを行なった場合も、そのコマンドを実行した位置を覚えています。^QP で１つ前の検索や、チェック位置に戻ることができます。

位置を記憶させた後、文字入力を行なった場合や、挿入、削除を行なうと記憶位置がずれる場合があります。

（つづく）

なんでも相談室「かな」？

今月は「文学」としゃれこんでみました。『昔はね、こんな便利な道具で文章を書いたんだよ！　キーボードなんかいらないんだよ！』と、入学祝いにもらった万年筆の嬉しさを思い浮かべて、久々に親子対話などいかがですか。

◎川端康成文学館　0726-25-5978　〒567 茨木市中条 2-11-25
開館：9:00-17:00　火曜日休館　200円　駐車場：有
交通：JR・阪急茨木駅から徒歩約２０分
文学を通じ日本の美しい自然、美しい日本の心を語りかけた川端康成は、日本人として初めてノーベル賞を授賞し、その功績を広く世界にも認められた人です。幼少時のほほえましいいたずら書きから、多くの著書。川端文学ゆかりの地を案内する地図。幼少期を過ごした屋敷などが20分の１に復元された模型に、テープ説明が流れる。

◎三好達治記念館　0726-69-1897　〒569 高槻市上牧町 2-6-31 本澄み寺内
開館：9:00-17:00　要予約　無料　駐車場：有
交通：阪急京都線上牧駅から約１０分
大阪で生まれた詩人三好達治は大阪北部・高槻の寺に眠る。館内には、詩人のほぼ全部の著書をはじめ、面影を伝える品々が展示されている。幼い頃から晩年までの写真。美しい文字の原稿。友人あての手紙など。

◎西行記念館　0721-93-2814　〒585 南河内郡河内町弘川43 弘川寺
開館：10:00-17:00　４月１日～５月10日、10月10日～11月20日　有料
「願はくは花の下にて春死なむそのきさらぎの望月のころ」西行法師はこの歌の通り桜の季節に永眠。弘川寺に葬られた。西行に関する資料、当寺を訪れた文人墨客の名品多数。

◎谷崎順一郎記念館　0797-23-5852　〒659 芦屋市伊勢町 12-15
開館：10:00-17:00　休館：火曜日　入館料：300円　駐車場：有
交通：芦屋駅・芦屋川駅からバスで緑橋下車、東へ徒歩２分
「花は桜、魚は鯛」と、物の王を愛した文豪がきっと気に入っただろうと思われる、和風造りの趣味のいい記念館。生誕 100年を機に第２のふる里とも愛した芦屋に建てられた。１階には展示室、ロビー、講義室、資料室など。２階は収蔵庫で、中庭には緑を映す池が配されている。愛用した机、硯、着物、美術品、原稿や名作の初版本など約 700点を収蔵。

◎近松記念館　06-491-7555　〒660 尼崎市久々知 1-4-38
開館：10:00-16:00　休館：水曜日　入館料：200円　駐車場：無
交通：JR福知山線塚口駅から南東へ徒歩15分
近松門左衛門は承応２年(1653)福井の生まれ。大阪で人形浄瑠璃、歌舞伎役者として活躍。尼崎の広済寺に親しく通い、「近松部屋」と呼ぶ部屋で、72歳で世を去るまでに数々の名作を書いたという。同寺には近松の墓もある。記念館には近松ゆかりの品々が約60点展示されている。また、２階ホールで近松作品の上演が行われ、命日の11月22日ごろに近松祭が催される。

志賀直哉旧居　0742-26-6490　〒630 奈良市高畑大道町 1237-2
開館：9:00-16:30　休館：木曜日　有料
交通：近鉄・JR奈良駅からバス
志賀直哉自身が設計し、1929（昭４）年に完成してここに住んだ。『暗夜行路』完結編などここで執筆。その書斎やサンルームなどを見学できる。

芭蕉翁記念館　0595-21-2219　〒518 上野市丸の内 117-13 （上野公園内）
開館：8:30-17:00　休館：月曜日、木曜日の午後　150円　駐車場：有
交通：近鉄伊賀線上野市駅から徒歩10分
伊賀上野は『野ざらし紀行』『奥の細道』や数々の名句で知られる松尾芭蕉の生誕地である。芭蕉生家や蓑虫庵も残り、あちこちに句碑が建てられ、まさに芭蕉の町である。収蔵品は芭蕉をしのぶ貴重な資料ばかり。

佐藤春夫記念館　0735-21-1755　〒647 新宮市新宮１ 熊野速玉神社境内
開館：9:00-16:30　休館：水曜日　有料
交通：JR新宮駅
佐藤春夫の遺品、初版本、写真、調度品など展示。

てんやく広場　通信・目録委員会に出席して

日本ＩＢＭの多大なご支援により発展してきました「てんやく広場」も、予定通り来年８月をもって援助が切れます。私たち財政的に厳しい環境のもとにある点字図書館や経済的な裏付けのないボランティアグループの集まりである、「てんやく広場」のメンバーにとっても大きな節目の年となりそうです。

パソコン点訳は私たちに多くの変化を持ち込みました。図書館にとっては、プリンターで打ち出すことにより副本がとれるようになり、また、通信をかえして他館で作れれた点字資料も即座に利用できるようになりました。今まで資料の少なさに悩み続けた点字図書館ですが、データを共有することで１館ではかなわなかった蔵書量の増加をはかることができます。

利用者にとっては、資料の個人所有が用意になりました。辞書や参考書など、どうしても手元に置きたい資料であっても、購入できる資料がなく、またあっても高価でかさばるゆえ、なかなか手元に置くことを許される環境ではありませんでした。ピンディスプレーや音声装置の開発のおかげで、小さなフロッピーの中に何冊もの図書が収納でき必要なときに読むことができます。

軽いキータッチや編集・修正が用意であるなどボランティアにとっても多くの福音をもたらしました。

これらを私たちに与えてくれた、「てんやく広場」が今、存亡の危機にたたされているといっても過言ではありません。「通信・目録委員会」では、年間２５００万かかる経費をいかに削減し、今以上に発展して行くにはどうすればいいのか検討してきました。

今後、音声データの圧縮技術の発展も予想され、データ化された音声と点字データを一元的に管理すること可能ともなります。また、利用者の直接的なアクセスも計画しており、一大視覚障害者サービス網と大きく発展して行くものと思われます。

６月３０日、７月１日はその新しいスタートの日となる予定です。また、「ＢＥ」のニューバージョンも登場します。ご期待下さい。

⊗　掲　示　板　⊗

・現在、ＩＢＭのパソコンをお使いの方で、新たにパソコンを購入された方お知らせ下さい。点訳が可能な機種が沢山有ります。
お貸ししている機種を他の人に廻しできるだけ多くの人にパソコン点訳の実感を味わっていただきたいと思っています。

・３階の校正机の上にキャンディーを置いています。校正で疲れた喉をいやして下さい。

・５階でグループ校正を始めています。点訳量が増えたのですが校正がネックとなり、なかなか蔵書を増やせないで困っています。
校正方法を試行錯誤しながら効率化をめざして行きます。
皆さまのご協力お願いいたします。

・全国の鉄道駅名の読み方をパソコンで検索できるようになりました。ＪＲ、私鉄をはじめケーブルカーなどの駅も含んでいます。

◆　発刊が遅れましてまことに申し訳ありません。

・皆さまのご意見をお待ちしています。３階、点字フロアーの「意見箱」までお寄せ下さい。

⊗　～自由に記入して下さい。６時間たった場合は消すことも！～⊗